

## 日本心エコー図学会 教育委員会 地方における小規模講習会に関する報告

2014. 11. 15

三重大学、福島県につづく本年度第3回ハンズオンセミナーを11月3日（月曜、祝日）筑波大学で開催したので報告する。今回の講習会は過去の講習会と異なり製薬メーカーMSD株式会社と教育委員会との共催で開催した。

### 1) 概容は以下の通り。

セミナー名：IBARAKI ECHO HANDS ON TRAINING SEMINAR

共催：日本心エコー図学会 教育委員会、MSD株式会社

後援：筑波大学附属病院総合臨床教育センター

東芝メディカルシステムズ株式会社

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

日立アロカメディカル株式会社

企画：日本心エコー図学会 教育委員会

事務担当：MSD株式会社（会の告知、参加者募集を含む）

日時：2014年11月3日（月） 9:30～ 16:30

場所：筑波大学附属病院 地域医療システム研究棟 高度医療技術シミュレーションラボ

対象：茨城県内の初期研修医（専攻医も可）

参加者：定員36名に対し、44名の申し込みあり、最終的に参加者を44名に決定  
当日参加43名、欠席1名

（出席率97.7%、初期研修医 1年目21名、2年目11名、後期研修医11名）。

内容：初心者を対象とした心エコー図法の講義とハンズオン

エコー装置：6台（エコーメーカー3社のご厚意により無料貸し出し）

被検者：健常者6名

### 2) 予算について

本セミナーの予算はMSD株式会社から支出されており、参加者からの参加費徴収はない。講師に対してはMSD株式会社の社内規則に沿った講師料が支払われた。また、茨城県以外からの講師に対して交通・宿泊費が支払われた。

### 3) プログラム

過去の福島県での講習会と同様のプログラムを踏襲した。2つのセッションにわけ、午前中は基本的な内容として、15分程度の講義とそれに引き続きハンズオンを行った。午後はより臨床的な内容とし、講義の後、救急外来で使う場合を想定してハンズオンを行った。

### 4) 指導者について

講義は教育委員会から3名、筑波大学の評議員1名、同じく日本超音波医学会専門医1名、同じく心エコー図学会認定専門技師2名が担当した。

ハンズオンは6グループで、1グループあたり参加者7または8名に対して、指導者1名の体制とした。

### 5) 参加者からのアンケート結果について（詳細は別紙参照）

後期研修医が含まれているため、15%が日常で心エコーを行っているとの返答があった。概ね好評であったが、2年目以降の受講生からは講義、実技が簡単であったとの返答も認められた(23%)。

定員を超えたため、座学の時間を短縮したものの実習時間が短いまたは短すぎるとの返答が約 50%あった。

6) 参加者からの感想（代表例を抜粋）

- 一日あっという間でした。とても楽しく勉強になりました。また機会があれば参加したいです。先生方、スタッフの皆様方、ありがとうございました。
- とても勉強になりました。1日でここまで理解できるようになれたのが驚きでした。Practical でとてもよいセミナーだったと思います。今日学んだことを日常臨床で活かせるようにしていきたいです。
- 大変勉強になり、明日から使える知識、技術を身につけられたと思います。講師の皆様、スタッフの方々本当にありがとうございました。
- 1人1人に実習時間が設けられており、直接指導していただけたので非常に充実した1日になった。
- 今回のセミナーは実践的でとても良かったため、頻繁に開催してほしい。セミナー1回だけだと忘れてしまうため。エコーをやる機会、練習できる場所が普段からあるとすごく良いと思った。ありがとうございました。
- たくさんの実習時間をもうけて頂き大変勉強になりました。休憩時間を5分でも頂けると良かったと思います。
- 自分で心エコーをあててみようという気持ちになった。
- 心エコーだけでなく腹部エコーでもこのような機会があればいいなと思います。
- もう少し時間が欲しかったです。非常に充実したセミナーでした。お忙しい中ありがとうございました。腹部エコーも習いたいです。
- とても勉強になりました。また機会がありましたら参加したいです。アドバンスな内容のセミナーもあったらうれしいです。
- 1人1人のエコーをさわれる時間が少し短かった様に思う。半数程度の人数でAM,PMに分けて、テーマをしぼっても良い様に思った。
- とても勉強になりました。もっと実習の時間が欲しかったです。
- 講義：前半難しい、後半ちょうどよい。実習時間：長いところと短いところがある。

6) まとめ

- 福島（2回）、三重で行ってきた小規模講習会もノウハウが蓄積され、筑波では初回開催であったが順調な運営ができ、受講生からの評判も良好であった。
- 定員を超えた人数で行ったため実習時間が短くなったことが反省点に挙げられるが、今回も募集定員は短期間で埋まり、需要がかなり多いことが明らかとなった。心エコーを行える若手医師が増えることが、医療や本学会発展に寄与できると強く感じる。今後も繰り返し開催して行って行きたいと思う。
- 本講習会はMSD株式会社との共催で行われた。今後製薬企業等の民間企業とコラボレーションする場合の規約を整理する必要がある。

（文責：筑波大学 瀬尾 由広）

# 茨城エコーハンズオントレーニング

日時：2014年 11月 3日 (月) 9:30~16:30

場所：筑波大学附属病院 地域医療システム研究棟1階  
高度医療技術シミュレーションラボ

共催：MSD株式会社 日本心エコー学会教育委員会

後援：筑波大学附属病院総合臨床教育センター

東芝メディカルシステムズ株式会社

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

日立アロカメディカル株式会社

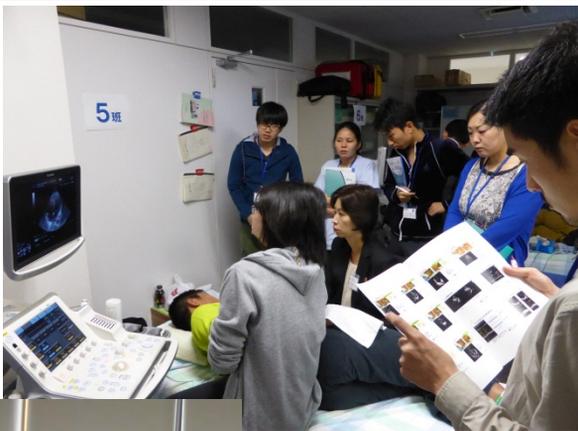


## 講師紹介

### 開会の挨拶



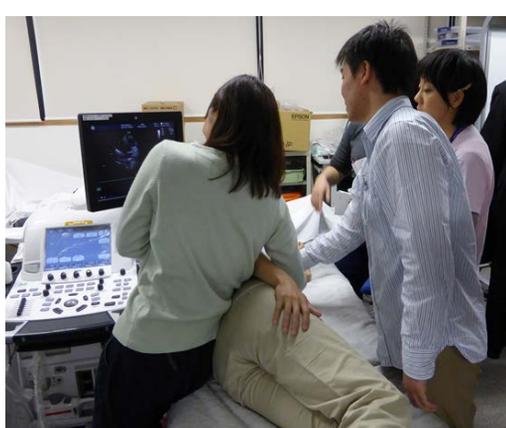
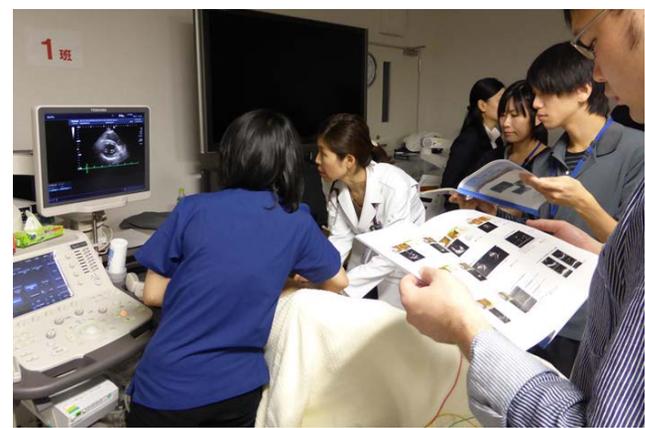
### 趣旨説明





講師陣の  
迫真の  
演技！！







閉会の挨拶

長時間お疲れ様でした。



写真掲載にあたっては参加者の承諾を得ております。